

## 閉会あいさつ

埼玉県合同輸血療法委員会 世話人 南 陸彦

皆さん、遅くまでこれだけたくさんの方々に残っていただきまして、どうもありがとうございます。たぶん、1番最後の寺澤先生の特別講演、とても楽しい講演で、出て行こうと思われた方もついつい引きとめられてしまったのではないかと思います。

これで埼玉輸血フォーラムも3回目で、少しずつではありますが充実して進んできていると私は思っております。埼玉県での輸血療法は適正使用といった方向に着実に前進していていると思っております。本日の寺澤先生のご講演は本当に楽しかったと思います。検査データ、それから医師と臨床検査技師とのいろいろなコミュニケーションなどとても参考になることを、大変分かりやすく楽しくお話しいただきました。特に最後に、寺澤先生のご講演の中で、西武ライオンズの渡辺監督の人材育成力が取り上げられました。人材育成は、大変重要なことであると思います。

埼玉では、毎年クリスマスキャンペーンに西武ライオンズの選手の方に来ていただきましてトークショーを行っております。その時にNack5というラジオ放送が入りまして、司会者、アナウンサーの方といろいろ話すのですが、先生は西武のどなたのファンですか？」と聞かれました。その時、私は即座に「渡辺監督です。」と答えております。渡辺監督の人材育成力には、私も本当に感心し、尊敬しておりますので、今日のお話は楽しいだけでなく大変中身の濃い、また最後の人材育成にしても大変納得のいく思いで伺いました。

まずは寺澤先生に、本当にどうもありがとうございます。また本日ご出席の方々が今日のいろいろな成果を病院に持って帰られ、埼玉県の輸血療法の適正化が質的に一層向上していくということを祈りまして、挨拶に代えさせていただきます。

本日はどうもお疲れ様でした。